

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)													
ET46J020		臨床心理応用実習A(心理実践実習B)(Practical Training in Clinical Psychology I(Advanced Practical Training in Psychology B))					臨床心理学													
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員														
選択	3	1年	教育学研究科	通年		氏名 武内珠美・渡辺巨・佐藤晋治・池永恵美 E-mail ttakeuti@oita-u.ac.jp 内線 7611														
授業の概要	教育分野、福祉分野の学外施設において、心理職の実務を学ぶと同時に、実習指導者等の指導を受けながら心理支援について実践的に学ぶ。具体的には、要支援者に関する知識を深めながら、心理学的理解と支援計画の策定、心理支援やチームアプローチの実際、多職種連携と地域連携、職業倫理及び法的義務といった内容について実践的に学ぶ。なお、この実習では教育分野の学外施設として教育支援センター(適応指導教室)、福祉分野の学外施設として児童相談所もしくは精神保健福祉センターにおいて実習を行う。																			
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	教育分野、福祉分野における心理職の実務について説明できる。																			
目標2	指導者の指導の下で可能な心理支援を実践するとともに、教育分野、福祉分野における要支援者に対する心理学的理解、支援計																			
目標3	教育分野、福祉分野における多職種連携や地域連携、職業倫理、法的義務といった事柄について、実践と関連づけながら説明で																			
目標4																				
目標5																				
目標6																				
目標7																				
目標8																				
目標9																				
目標10																				
授業の内容																				
1	オリエンテーション																			
2	教育支援センター(適応指導教室)における実習																			
3	教育支援センター(適応指導教室)における実習																			
4	教育支援センター(適応指導教室)における実習																			
5	教育支援センター(適応指導教室)における実習																			
6	教育支援センター(適応指導教室)における実習																			
7	教育支援センター(適応指導教室)における実習																			
8	教育支援センター(適応指導教室)における実習																			
9	児童相談所もしくは精神保健福祉センターにおける実習																			
10	児童相談所もしくは精神保健福祉センターにおける実習																			
11	児童相談所もしくは精神保健福祉センターにおける実習																			
12	児童相談所もしくは精神保健福祉センターにおける実習																			
13	児童相談所もしくは精神保健福祉センターにおける実習																			
14	児童相談所もしくは精神保健福祉センターにおける実習																			
15	児童相談所もしくは精神保健福祉センターにおける実習																			
ラーニング	A:知識の定着・確認	体験活動、陪席、学生の過去の体験との紐付け、調べ学修(文献、インターネット)、				工夫 その 他の														
	B:意見の表現・交換	ディスカッション、相互教授、学びの省察、																		
ディ	C:応用志向	ロールプレイ、事例研究、																		
グ	D:知識の活用・創造																			
時間外学修の内容と時間の目安	準備	機関や当該分野についての調べ学修。左記調べ学修に基づく、動機・目的意識の明確化(事前レポートとして提出)。使用する可能性のある心理検査の実施法の修得。その他、実習において指示する。(1回あたり120分)																		
	事後	各回のデイリーレポート。その他、実習において指示する。(1回あたり120分)																		
教科書	実習において指示する。																			
参考書	実習において指示する。																			
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10								
	実習への取り組み	50%																		
	各回のデイリーレポート	25%																		
	最終レポート	25%																		
注意事項	公認心理師受験資格取得のためには、本科目を含む所定の科目で合計実習時間450時間以上、うち支援担当270時間以上(うち、学外施設における支援担当90時間以上)が必要となる。																			
備考	本科目は臨床心理士受験資格取得に関する必修科目である。臨床心理士受験資格取得のための必修科目については、別に配付する資料に基づいて履修すること。また、公認心理師受験資格取得のために必要な科目でもある。																			
リンク																				
	URL																			